

審議結果

平成28年常総市議会（5月定例会議）が、5月25日から6月10日までの17日間の会期で開かれまし

た。
今定例会議には、平成28年度一般会計補正予算を含む議案13件を市長が提案。初日の本会議で提案理由の説明があり、後日（6月3日）、議案等は各常任委員会及び予算特別委員会に付託され、各委員会（分科会）において詳細に審議がなされました。

最終日には、市長から人事案件3件が提出され、採決の結果、議案13件、人事案件3件が原案のとおり可決・推薦されました。また、陳情2件が採択となりました。最後に関東・東北豪雨による水害検証特別委員会の委員長から検証の最終報告があり、承認されました。審議された主な議案は次のとおりです。

議案第6号

常総市児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

本案は、児童クラブの管理及び

運営について指定管理者制度を導入することとし、指定管理者に係る必要な規定を新たに加えるものです。

陳情第2号

圏央道常総インターチェンジ周辺整備事業 事業推進に関する陳情

この陳情の趣旨は「将来的に本地域に止まらず、市全体ひいては周辺地域の農業活性化に寄与するモデルともなり得る事業に対し、議員の皆様が趣旨の御理解と推進をいただきたい。」というものです。

関東・東北豪雨による水害復興特別委員会中間報告書

当委員会は、総務部門・文教厚生部門・建設経済部門の3つの小委員会に分かれ、「常総再興！みんなが住みたいまちづくり」の名のもとに提言・提案を中間報告としてまとめ、2月定例会議の最終日に中間報告を行いました（詳細は市議会のホームページをご覧ください）。更に提言・提案を集約するため、今後も協議・検討を続けてまいります。

関東・東北豪雨による水害検証特別委員会報告書

当委員会は平成27年11月に設置され、市や国交省の担当者から聞き取り調査を行うなど、全18回にわたり調査・協議が行われました。意見の集約をして報告書をまとめ、5月定例会議の最終日に提出しました。報告書の要旨は次のとおりです。

【水害対応の検証事実】

- ・三坂地区住民から越水に対応するよう要請があったにもかかわらず、土のう設置などの対応がなされなかった。
- ・江連八間土地改良区が管理する水海道排水機場のポンプは、3台中1台しか稼働しなかった。
- ・堤防が決壊した上三坂への避難指示は、放送担当課への連絡過程で抜け落ちた。
- ・災害対策本部の会議録が存在しなかった。
- ・市長と職員の情報共有が不十分であった。
- ・国交省から「下流部での越水も予想される」との情報提供があったにもかかわらず、災害対策本部は市役所が水没するという認識がなかった。
- ・災害発生当初、市の災害対策本部と国交省、県、自衛隊、警察、消防を含めた合同対策本部との連携が機能していなかった。

【水害についての提言・要望事項】

- ・大幅な防災計画の見直しとして、災害対策本部の指示事項などをすばやく正確に共有できる体制を整備する。避難指示の漏れを防ぐため、避難指示を出す経過記録を作成する。職員の行動や配置に関する計画を整備する。
- ・市民に向けて災害時の行動等の講習会を実施する。自主防災組織の育成を市が積極的に推進し、災害対応訓練等を実施する。
- ・鬼怒川堤防の強化として、住宅側の法面も補強する工法を採用する。
- ・八間堀川の水害対策強化として、八間堀川の樋管や排水機場の管理については、一括管理できる体制を構築する。
- ・ボランティアの受け入れ能力を高める訓練や計画を整備する。
- ・家を失った方への心のケアをする。

